

# 1. 感染症速報（彦岐地区）

2026年 第8週 2月16日 ~ 2月22日

作成：長崎県彦岐保健所 企画保健課

疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り
インフルエンザ	⊗⊗	RSウイルス 感染症	😊	咽頭結膜熱	😊	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	😐	急性呼吸器 感染症(ARI)	😐
警報:開始30 終息10	38.67	警報:開始 - 終息 -	0.00	警報:開始3 終息1	0.00	警報:開始8 終息4	1.50	警報:開始 - 終息 -	61.00
感染性胃腸炎	😐	水痘	😊	手足口病	😊	伝染性紅斑 (リンゴ病)	😊	※定点数3:インフルエンザ 新型コロナウイルス感染 症 急性呼吸器感染症 (ARI)	
警報:開始20 終息12	1.00	警報:開始2 終息1	0.00	警報:開始5 終息2	0.00	警報:開始2 終息1	0.00	※急性呼吸器感染症(ARI)とは、急 性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳 炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎 (気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指 す病原体による症候群の総称です。 インフルエンザ、新型コロナウイルス、 RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血 性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ なども含まれ、報告数は重複します。	
突発性発しん	😊	ヘルパンギーナ	😊	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	😊	新型コロナウイルス 感染症	😐	※急性呼吸器感染症(ARI)とは、急 性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳 炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎 (気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指 す病原体による症候群の総称です。 インフルエンザ、新型コロナウイルス、 RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血 性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ なども含まれ、報告数は重複します。	
警報:開始 - 終息 -	0.00	警報:開始6 終息2	0.00	警報:開始6 終息2	0.00	警報:開始 - 終息 -	0.67		
😊	発生報告 なし	😐	少数の発生あり	⊗	流行に注意 【注意報レベル】	⊗⊗	流行中 【警報レベル】		

※警報レベル基準値は表示のとおり(-は設定なし)。注意報レベル基準値は、インフルエンザ:10 水痘:1 その他は設定なし。

## 2. トピックス

### ★インフルエンザが警報レベルで流行しています！！

彦岐地区では、2026年第6週から警報レベル開始基準値「30.0」を超え、第8週も「38.67」と警報レベルの報告数が3週間継続しています。また、1月下旬からはB型の患者が殆どとなっています。

今後も、**手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め**、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

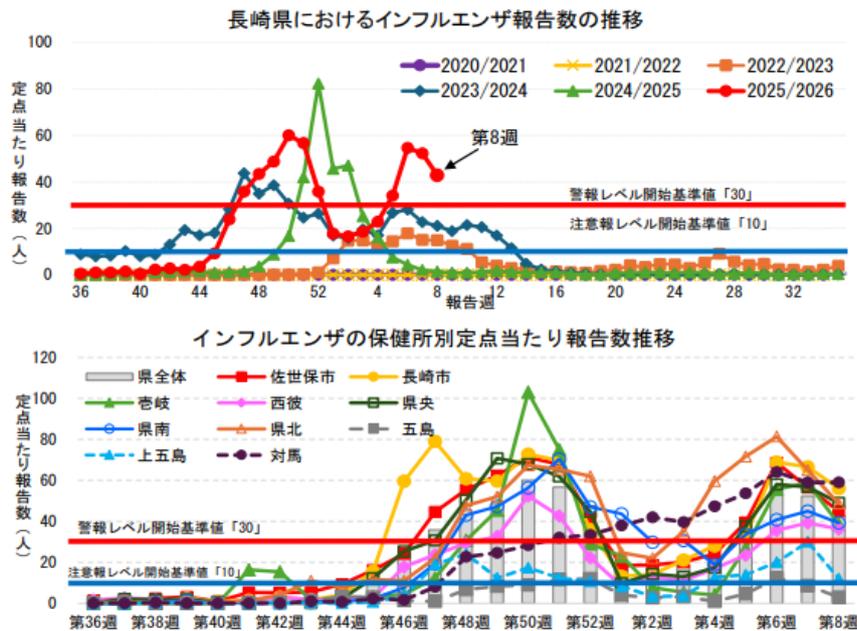
長崎県内においては、第8週の定点当たり報告数は「42.82」となり、2週続けて減少しましたが、警報レベルの報告数は14週間継続しています。

地区別にみると、10保健所のうち9保健所で警報レベルの報告数となっています。年代別では、10歳未満（54%）、10代（33%）が多くなっています。

[◎長崎県感染症情報センターホームページ「インフルエンザ」もご覧ください。](#)

[◎2025/2026シーズンのインフルエンザ臨時休業措置等](#)

[\(参考\)厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」](#)



### ★海外渡航の際は、感染症に注意しましょう

春休みを利用して海外に出かける方の増加が予想されます。海外では、日本に常在しない感染症や日本よりも高い頻度で発生している感染症が報告されています。

海外滞在中にこれらの感染症への感染を防止するためには、予防方法を知っておくことが重要です。厚生労働省のホームページには海外の感染症の発生状況や予防方法に関する情報が掲載されていますので、渡航先の情報を入手し、体調管理に努めましょう。

また、帰国後に症状が出た場合は、医療機関に相談・受診しましょう。その際には、旅行先や滞在期間、飲食状況、渡航先での職歴、家畜や動物との接触の有無などについて必ず申し出ましょう。

[\(参考\)厚生労働省 海外へ渡航される皆様へ](#)

[\(参考\)厚生労働省検疫所\(FORTH\)](#)

## ★麻疹に注意しましょう

現在、海外における麻疹の流行が報告されており、インドネシアをはじめとする諸外国を推定感染地域とする輸入事例の報告が増加しております。今後、輸入事例の更なる増加や、国内におけるイベントや不特定多数が集まる施設等のマス・ギャザリング環境を契機とした国内感染伝播の発生が懸念されています。

麻疹とは、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、①発熱、②全身の発しん、③咳、鼻水、目の充血などが主な症状です。麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染し、その感染力は非常に強いと言われています。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人程度の割合で脳炎が発症します。稀に(10万人に1人程度)、麻疹ウイルスに感染後、数年から十数年後に亜急性硬化性全脳炎(SSPE)と呼ばれる知的障害や運動障害などが進行した後、数年以内に死に至る中枢神経疾患を発症することもあります。

麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗いやマスクのみでの予防はできませんが、予防接種(ワクチン接種)を行うことによって、95%以上の方が免疫を獲得することができると言われています。定期接種対象者、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、麻疹の罹患歴や予防接種歴を確認し、明らかでない場合は予防接種をご検討ください。

◎[吉岐保健所のホームページもご覧ください。](#)

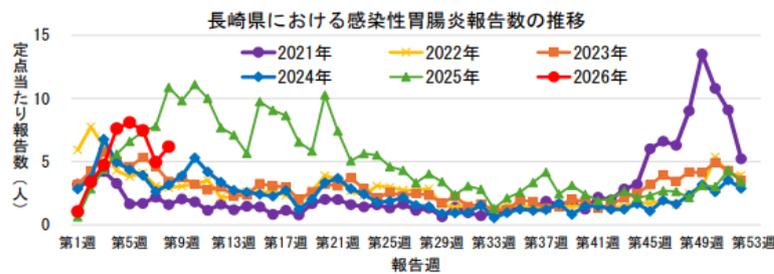
## ★感染性胃腸炎を予防しましょう

感染性胃腸炎は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。

例年冬期に患者数が増加するのがノロウイルスによる胃腸炎です。ノロウイルスの潜伏期間は1～2日で症状の持続期間は数時間～数日です。症状は他の胃腸炎ウイルスと同様に嘔気、嘔吐、下痢が主で、腹痛や発熱を認める場合もあります。乳幼児から成人に至るあらゆる年齢に感染します。

また、ノロウイルスは食中毒の原因としても検出されるウイルスです。ノロウイルスに感染した患者の手指から食品を介して感染します。予防には、手洗いが重要です。手洗いを励行し、体調管理を行い、積極的な感染防止に努めましょう。

◎次ページ以降のノロウイルスに関するチラシ等もご覧ください。



≪3月1日～7日は「子ども予防接種週間」です！≫

「子ども予防接種週間」は、保護者をはじめ地域住民の予防接種への関心を高め、接種率の向上を図ることを目的に、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本小児科医会及び厚生労働省の共催によって実施されています。

特に4月に入園、入学となるお子さんの保護者の方は、母子健康手帳で接種歴を確認いただき、接種忘れがあれば予防接種を受けるようにお願いします。詳しくは下記リンクまたはQRコードからご確認ください。

厚生労働省HP:令和7年度「子ども予防接種週間」の実施について  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000193336\\_00009.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000193336_00009.html)

吉岐市の乳幼児の予防接種については、下記リンクまたはQRコードからご確認ください。

吉岐市HP:乳幼児の予防接種  
<https://www.city.iki.nagasaki.jp/soshiki/kenkozoshin/yobousesyuu/11522.html>



≪骨髄バンクへのスワブドナー登録(トライアル)にご協力をお願いします。≫

HLA型は人それぞれ大きく異なるため、患者さんと適合するドナーを見つけるには、多くの方の登録が必要です。しかし、毎年2,000人近くがバンクドナーからの移植を希望しているものの、移植に至るのはその半数程度と、大変厳しい数字となっています。このような状況から、新たなドナー登録の形として、「スワブドナー登録」の受付をトライアルの形で2026年1月20日より開始しております。皆様のご協力をお願いします。



申し込みや詳しい内容については、下記のリンクまたはQRコードよりご覧ください。  
<https://www.jmdp.or.jp/special/swabregweb.html>



採血不要! スワブ登録トライアルのお知らせ

### #スワブ登録 はじめます

採血なしで、口の中をこするだけで! 自宅にいながらのドナー登録が可能に。

スワブ登録とは?

スワブ登録とは、採血を必要としないドナー登録方法です。口の中をこするだけで、HLA型を採取し、ドナー登録が可能です。



冬は特にご注意ください！

# ノロウイルス

による

# 食中毒

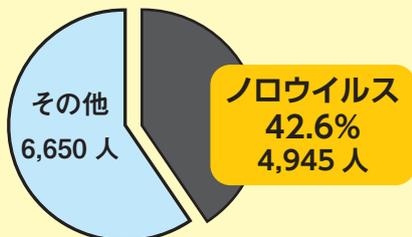
食中毒は夏だけではありません。

ウイルスによる食中毒が**冬に多発**しています!!!

データでみると

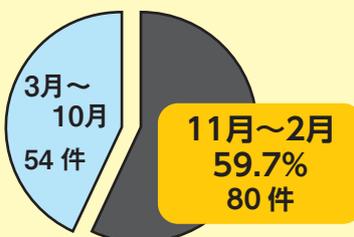
ノロウイルスによる食中毒は、

◆患者数で第1位



原因別の食中毒患者数（年間）

◆冬期に多い



ノロウイルス食中毒の発生時期別の件数（年間）

◆大規模な食中毒になりやすい



食中毒1件あたりの患者数

※出典：食中毒統計（令和2～6年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る）

## ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

### 調理する人の

#### 健康管理

- 普段から感染しないように食べものや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取り扱う作業をしない。
- 毎日作業開始前に調理従事者の健康状態を確認し、責任者に報告する仕組みをつくる。

### 作業前などの

#### 手洗い

- 洗うタイミングは、
  - ◎ トイレに行ったあと
  - ◎ 調理施設に入る前
  - ◎ 料理の盛付けの前
  - ◎ 次の調理作業に入る前
  - ◎ 手袋を着用する前
- 汚れの残りやすいところをていねいに
  - ◎ 指先、指の間、爪の間
  - ◎ 親指の周り
  - ◎ 手首、手の甲

### 調理器具の

#### 消毒

- 洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法又はこれと同等の効果を有する方法で消毒する。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

ノロウイルスQ&A

検索



# ノロウイルスの感染を広げないために

## 食器・環境・リネン類などの

## 消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器などは、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
  - 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いし、十分すすぎます。
  - 85℃で1分間以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
  - 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

## おう吐物などの

## 処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
  - 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
  - ペーパータオルなど（市販される凝固剤等を使用することも可能）で静かに拭き取り、塩素消毒後、水拭きをします。
  - 拭き取ったおう吐物や手袋などは、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1,000ppmの塩素消毒液に浸します。
  - しぶきなどを吸い込まないようにします。
  - 終わったら、ていねいに手を洗います。

## 塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

\*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

	食器、カーテンなどの消毒や拭き取り		おう吐物などの廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す)	
	200ppmの濃度の塩素消毒液		1000ppmの濃度の塩素消毒液	
製品の濃度	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L



- ▶ 製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶ 次亜塩素酸ナトリウムは**使用期限内のもの**を使用してください。
- ▶ おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、**有毒ガスが発生することがあります**ので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶ 消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、**誤って飲むことがないように**、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。

## ノロウイルスによる感染について

感染経路	症状
<p>&lt;食品からの感染&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染した人が調理などをして汚染された食品</li> <li>● ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など</li> </ul> <p>&lt;人からの感染&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 患者のふん便やおう吐物からの二次感染</li> <li>● 家庭や施設内などでの飛沫などによる感染</li> </ul>	<p>&lt;潜伏時間&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染から発症まで24~48時間</li> </ul> <p>&lt;主な症状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1~2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。</li> <li>● 乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。</li> </ul>

できていますか？

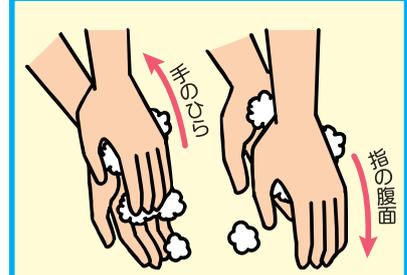
# 衛生的な手洗い



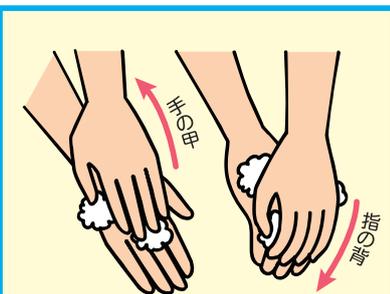
1 流水で手を洗う



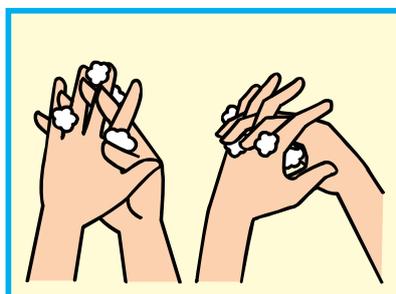
2 洗剤を手取る



3 手のひら、指の腹面を洗う



4 手の甲、指の背を洗う



5 指の間(側面)、股(付け根)を洗う



6 親指と親指の付け根のふくらんだ部分を洗う



7 指先を洗う



8 手首を洗う (内側・側面・外側)



9 洗剤を十分な流水でよく洗い流す



10 手をふき乾燥させる



11 アルコールによる消毒

**2度洗いが効果的です!**

2～9までの手順をくり返し2度洗いで菌やウイルスを洗い流しましょう。



## 排泄物・嘔吐物処理の手順

- 1 汚染場所に人が近づかないようにし、大きく窓を開けるなどして換気します



- 2 使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用します



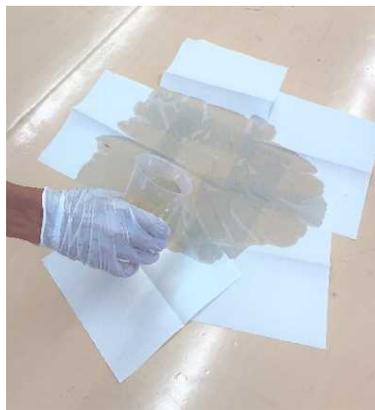
- 3 嘔吐物は、使い捨てのペーパータオル等で外側から内側にむけて、静かに拭き取ります



- 4 使用したペーパータオル等はすぐにビニール袋に入れます



- 5 嘔吐物が付着していた床とその周囲を0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませたペーパータオル等で覆うか、浸すように拭きます



- 6 使用したペーパータオル、手袋等はすぐにビニール袋に入れ、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度に入れ、消毒します



- 7 ビニール袋の口をしっかりとしばります



- 8 処理後は、しっかりと手洗いをします

